



# 株式会社まちのミライ サッカーキャンプ誘致会議体 設立記者会見

# 北海道サッカーキャンプコネクション Hokkaido Soccer Camp Connection

北海道における国内外のサッカーキャンプ誘致を総合的かつ効果的に推進します

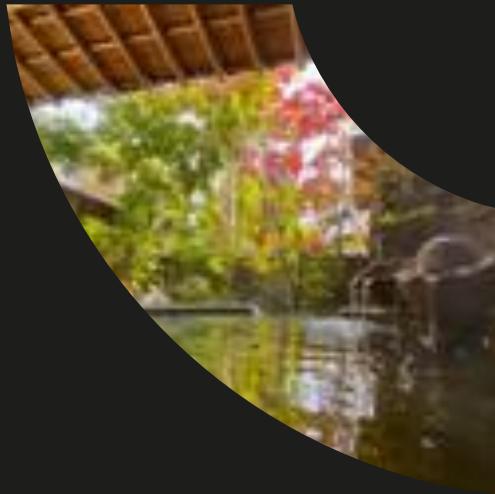
現在、Jリーグのオフシーズンに各クラブが実施するキャンプは、リーグのレギュレーションにより主に沖縄県を中心とする九州地方で行われています。これは、Jリーグの開催期間が春秋制（2月～12月）であり、オフシーズンが冬季にあたるため、温暖な沖縄が最適とされてきたからです。

しかし、Jリーグは世界基準に合わせて「秋春制」への移行をするとオフシーズンが冬から夏へと変わります。

この変更に伴い、従来の冬季キャンプに代わる夏季キャンプの実施が必要となり、その候補地として北海道や東北などの涼しい地域が注目されています。



# 北海道の特性



## 気候の安定性

夏季の平均気温は20～25℃で湿度も低く、涼しく快適な環境。選手の体調管理がしやすく、トレーニングの質が向上する。

## 話題性とブランド力

Jリーグクラブの夏季キャンプ誘致は新たな試みであり、全国的に注目を集めやすい。また、「夏のスポーツ合宿地」としての新たなブランド確立につながる可能性が高い。

## 長期滞在に適した環境

宿泊施設、温泉、リハビリ施設などが充実しており、長期合宿に適した環境が整っている。リフレッシュ環境としても魅力的。

## 観光資源とファン誘致の魅力

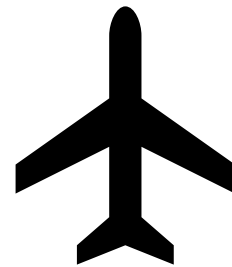
大自然、温泉、グルメ、観光地などが豊富で、ファンや観光客も楽しめる要素が多い。キャンプを観光コンテンツとして活用しやすい。

## 設立・誘致の目的



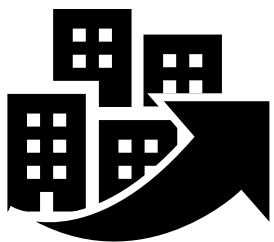
### サッカーの裾野拡大

- 子どもたちに夢と目標を提供
- 北海道におけるサッカー文化の発展
- 競技力の向上
- プロレベルに触れられる機会の創出



### スポーツツーリズム促進

- 「スポーツ合宿の聖地」としてのブランド化
- ファンとの交流による観光促進



### 地域経済の活性化

- スポーツ施設の有効活用
- 関連産業の波及効果



### 地方公共団体・企業とのアライアンス

- 地方公共団体とのアライアンス
- サッカー環境維持のノウハウ提供
- 北海道全体での広域連携
- 地元企業とのパートナーシップ強化

## 当社の強み

### ■ Jクラブグループとしての使命

北海道唯一のJリーグクラブグループとして存在している以上、北海道に訪れる他の全Jクラブに対して必要な機能・情報を提供すること、サッカーを通じて北海道を盛り上げること自体が当社の使命だと感じております。

### ■ グ라운드管理

白い恋人パークサッカー場を管理している「株式会社北海道グラウンドワークス」との連携により、北海道全域のグラウンド整備を段階的かつスムーズにおこなうことでJクラブの標準レベルへ併せることができ、当社を通じて来道される全てのクラブへ最適なサッカー環境を提供いたします。

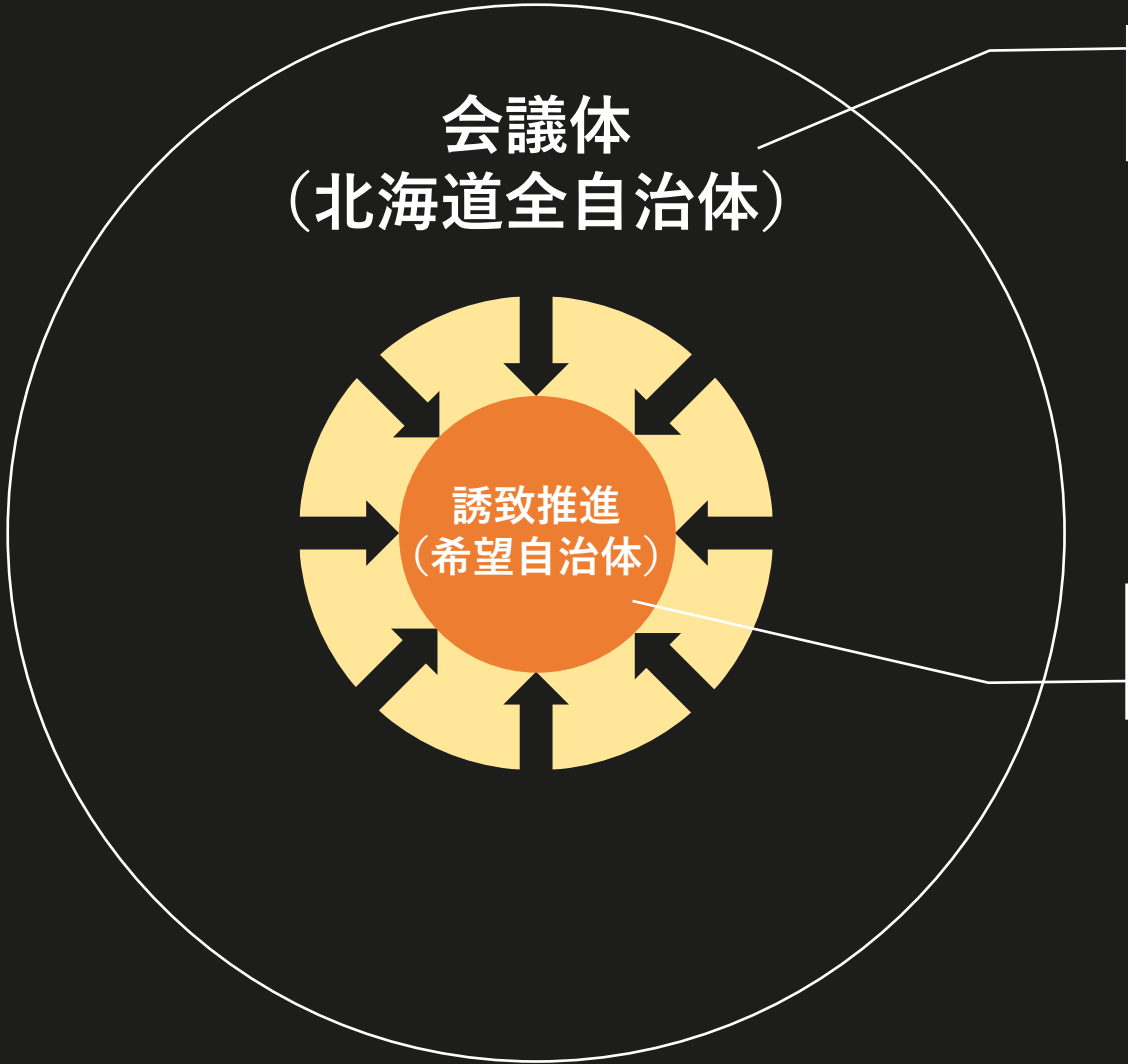
### ■ キャンプ実績の蓄積

北海道コンサドーレ札幌がこれまでおこなってきたキャンプ実績に基づき、キャンプにおける必要事項や注意事項などの情報をスムーズに仕入れることができ、どのクラブにも整った環境や情報を提供することができます。

### ■ スポーツアライアンス

レバンガ北海道（Bリーグ）、ヴォレアス北海道（SVリーグ）とのアライアンスにより、サッカーに限らない様々なスポーツキャンプを誘致することができ、スポーツを通じて北海道に夢を与えます。

地域問わず多くの地方公共団体様にご参画いただき、継続して協議を行う



## Hokkaido Soccer Camp Connection

北海道における国内外のサッカーキャンプ誘致を総合的かつ効果的に推進するため、北海道内の地方公共団体や関係団体が主体となり、定期的な情報共有と連携強化の場として本会議を設置する。これにより、誘致に関する情報を集約し、地域全体で一体的に取り組む体制を構築することを目的とする。

## キャンプ誘致を実務的に推進

北海道における国内外のサッカーキャンプ誘致を積極的に推進し、各地方公共団体が効果的に受け入れ体制を整備できるよう支援することを目的とする。具体的には、各クラブ関係者への情報提供や視察対応、トレーニングマッチのコーディネート、キャンプ地の情報発信及び地域の機運醸成を通じて、誘致活動の実効性を高める。また、キャンプ実施による経済波及効果や雇用創出効果を調査・分析し、各地方公共団体の誘致戦略の最適化を図るとともに、クラブチームとの交流施策を推進し、地域との継続的な関係構築を支援する。最終的に、サッカーキャンプを北海道全体のスポーツ振興・観光促進・地域経済活性化の核とし、持続可能なキャンプ受け入れ環境の確立を目指す。

サッカーキャンプの誘致に向け、地方公共団体間のネットワークを広げます

概要

北海道における国内外のサッカーキャンプ誘致を総合的かつ効果的に推進するため、北海道内の地方公共団体や関係団体が主体となり、**定期的な情報共有と連携強化の場**として本会議を設置する。

これにより、誘致に関する情報を集約し、地域全体で一体的に取り組む体制を構築することを目的とする。

所掌事務

- ① サッカーキャンプ誘致に向けた地方公共団体間の情報共有及び連携強化に関すること。
- ② サッカーキャンプの受け入れ環境の整備及び誘致体制の構築に関すること。
- ③ Jリーグや各クラブの動向、キャンプニーズ、天然芝サッカー場の維持管理に関する情報提供及び共有に関すること。
- ④ 関係団体や企業との連携を通じた誘致活動の推進に関すること。
- ⑤ その他、本会議の目的達成に必要な事項に関すること。

| No. | 団体名                                                 |
|-----|-----------------------------------------------------|
| 1   | 株式会社まちのミライ（株式会社コンサドーレ関連会社）                          |
| 2   | 公益財団法人北海道サッカー協会                                     |
| 3   | 札幌市・旭川市・函館市・江別市・恵庭市・北斗市・北見市・網走市・倶知安町・津別町<br>※4/14時点 |
| 4   | 以降、キャンプ誘致を検討したい、推進したい地方公共団体対象                       |

- ◆ 前表に掲げる者のほか、本会議が必要と認める者
- ◆ 株式会社まちのミライは、必要と認めた場合、会議の議事に関係のある者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。
- ◆ 本会議の事務を処理するため、事務局を株式会社まちのミライ内に置く



# サッカーキャンプ誘致推進

## 各クラブのニーズをまとめ、各エリアへのサッカーキャンプ誘致を実装

### 目的

サッカーキャンプ誘致に取り組む地方公共団体や関係団体が連携し、クラブ関係者への情報発信や視察受け入れを強化することで、北海道へのキャンプ誘致を実現する。また、トレーニング環境や宿泊施設の整備、地域との交流施策を推進し、継続的なキャンプ受け入れの基盤を確立することで、北海道をサッカーキャンプの拠点としてブランド化することを目指すことを目的とする。

### 業務内容

- ① サッカーキャンプ誘致活動の実施
- ② トレーニングマッチのコーディネート
- ③ キャンプ地の情報発信及び気運醸成
- ④ サッカーキャンプの経済波及効果等の調査とキャンプのあり方の提言
- ⑤ クラブチームと当該地域の交流支援
- ⑥ サッカーキャンプ実施に係る完了報告の取りまとめ



# 役割分担

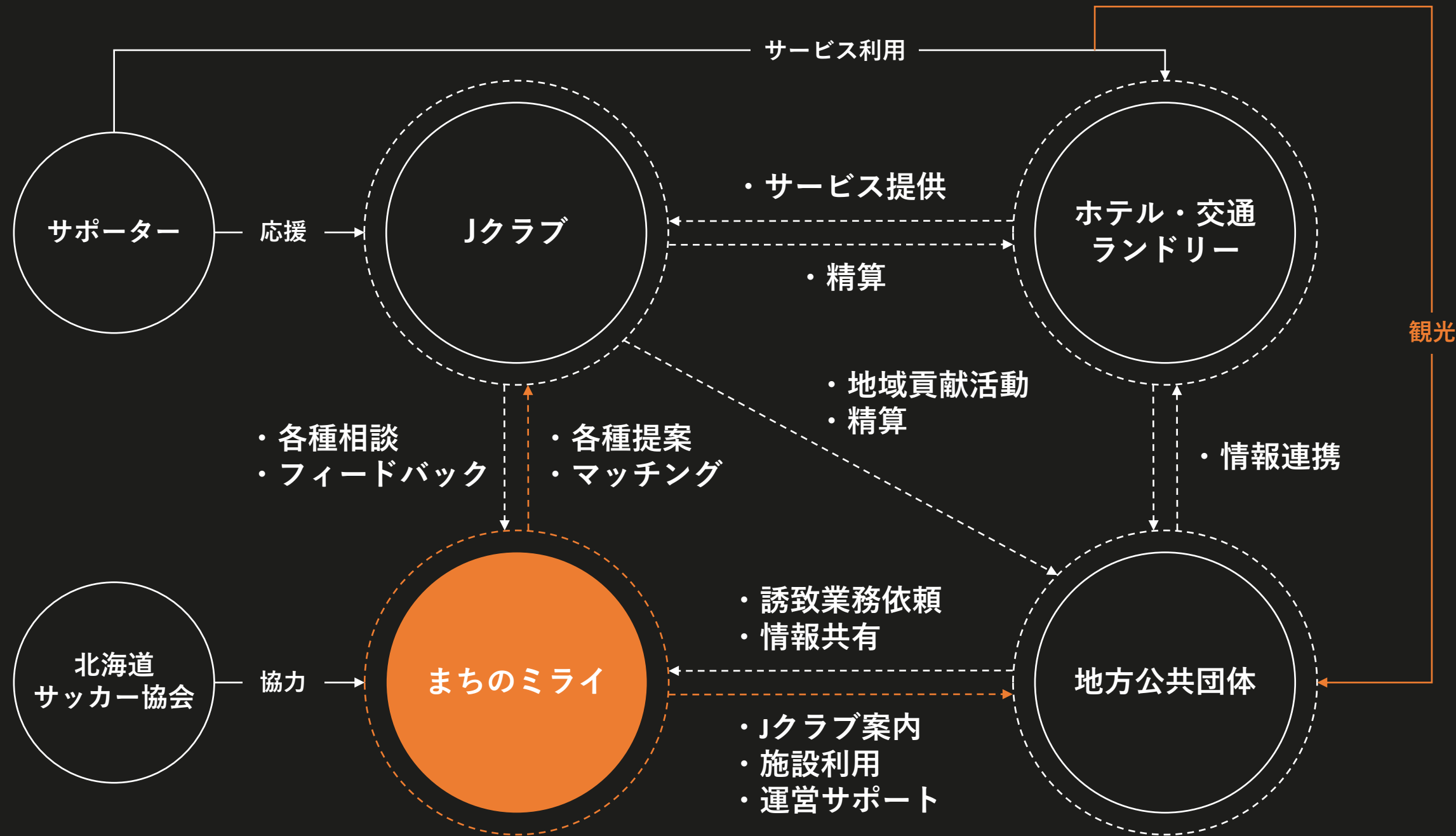
## まちのミライ

- サッカーキャンプ誘致活動の推進
- 視察対応・施設見学のサポート
- キャンプ候補地の提案・選定支援
- 受け入れ体制の整備・準備支援
- 契約交渉および合意形成の支援
- 地方公共団体とサッカークラブのマッチング支援
- キャンプ日程調整・スケジュール管理
- 宿泊施設との連携強化および調整
- トレーニングマッチの日程調整・手配
- 審判の手配・調整支援
- メディア広報活動・情報発信
- 広報活動の戦略立案と実施
- SNSおよびWEBサイトの更新・管理
- 地域への機運醸成活動の実施
- サッカーイベントの企画・運営支援
- ファン交流イベントの企画・実施
- 経済波及効果の分析および報告書作成
- 地域での雇用創出に関する調査活動
- データ収集・分析および改善提言
- クラブと地域の交流支援活動
- ホームタウン戦略の推進およびサポート
- キャンプ完了報告書の作成および提出

## 地方公共団体

- サッカーキャンプ施設の整備・管理
- 交通機関との連携強化
- 医療・救急対応体制の整備
- サッカーキャンプ誘致活動の支援
- キャンプ誘致支援の制度設計と実施※
- 市内の広報活動と情報発信
- 視察対応と地域魅力のアピール
- 公開練習・ファンイベントの企画・運営支援
- 観光施設との連携による地域魅力の創出
- 地域住民との協力・連携強化
- 地域企業との協力による地域振興活動
- キャンプの継続的な誘致・受け入れ体制の強化

想定大枠スキーム図（改案）



招致数

27クラブ

- Jリーグ 19クラブ
- Kリーグ 1クラブ
- WEリーグ 3クラブ
- 大学 3クラブ
- その他 1クラブ

経済効果

経済波及効果

21億円

| クラブ関連支出 | 観光需要増加額 |
|---------|---------|
| 6億円     | 6億円     |

招致数

27クラブ

- Jリーグ 19クラブ
- Kリーグ 1クラブ
- WEリーグ 3クラブ
- 大学 3クラブ
- その他 1クラブ

経済波及効果

21億円

クラブ関連支出

6億円

観光需要増加額

6億円



沖縄県参考詳細数値（R5年度）

サッカーチーム誘致関連支出額

|                            | 支出額（円）      |
|----------------------------|-------------|
| 球団経費                       | 430,500,000 |
| その他消費                      | 90,374,027  |
| 施設関連経費                     | 103,541,551 |
| その他消費<br>各選手・スタッフ<br>による消費 | 12,475,648  |
| 合計                         | 636,891,226 |

観光客による需要増加額

|        | 支出額（円）      |
|--------|-------------|
| 宿泊費    | 235,008,226 |
| 交通費    | 79,361,370  |
| 土産・買物費 | 103,113,370 |
| 飲食費    | 122,975,980 |
| 娯楽・入場費 | 65,798,978  |
| その他    | 14,399,650  |
| 合計     | 620,657,574 |

経済波及効果

単位：円

|         | キャンプ効果        | 観光効果          | 効果の合計：A       | 2023年効果：B     | A/B   |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------|
| 直接効果    | 636,891,226   | 620,657,574   | 1,257,548,800 | 1,191,144,603 | 105.6 |
| 付加価値額   | 134,236,783   | 132,253,618   | 266,490,401   | 226,552,907   | 117.6 |
| 雇用者所得   | 64,320,525    | 63,539,614    | 127,860,140   | 120,382,981   | 106.2 |
| 域内需要増加額 | 288,018,721   | 288,844,560   | 576,863,281   | 546,662,585   | 105.5 |
| 一次効果    | 379,880,917   | 381,945,487   | 761,826,404   | 719,924,540   | 105.8 |
| 二次効果    | 75,222,653    | 84,702,533    | 159,925,186   | 166,229,435   | 96.2  |
| 総効果     | 1,091,994,797 | 1,087,305,594 | 2,179,300,390 | 2,077,298,578 | 104.9 |

## 目標クラブ数

沖縄県以外でのキャンプ実施クラブの取り込みも想定

2026



2030

5年後には60クラブの招致を目標とする

# Hokkaido Soccer Camp Connection

2025.4.1 始動



